



2026年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月13日

上場会社名 株式会社ケイブ 上場取引所 東
コード番号 3760 URL <https://www.cave.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 高橋 祐希
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 伊藤 裕章（TEL）03-6820-8176
半期報告書提出予定日 2026年1月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年6月1日～2025年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年5月期中間期	5,604	△11.9	△808	—	△922	—	△740	—	△3,106	—
2025年5月期中間期	6,363	23.5	452	△23.0	329	△41.3	451	△38.1	396	△35.3

（注）包括利益 2026年5月期中間期 △3,058百万円（—％） 2025年5月期中間期 376百万円（△43.1％）

※EBITDA=減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期中間期	△515.50	—
2025年5月期中間期	65.77	62.85

（注）2026年5月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年5月期中間期	9,503	3,147	21.8
2025年5月期	13,248	6,266	38.8

（参考）自己資本 2026年5月期中間期 2,067百万円 2025年5月期 5,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年5月期	—	0.00	—	—	—
2026年5月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

2026年5月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料4ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年5月期中間期	6,693,500株	2025年5月期	6,693,500株
② 期末自己株式数	2026年5月期中間期	667,597株	2025年5月期	667,597株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年5月期中間期	6,025,903株	2025年5月期中間期	6,025,203株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・2026年5月期の業績予想につきましては、前述のとおり記載しておりません。本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)における我が国経済は、インバウンド需要の拡大や労働市場の改善を背景とした雇用・所得環境の底堅さに支えられ、一部に回復の兆しが見られるものの、円安による輸入コストの上昇を通じた物価上昇圧力や金融政策の正常化による金利上昇が個人消費に影響を与えております。

このような経営環境の下、当社グループでは引き続きゲーム事業を中核に、安定的な収益基盤を維持しております。また、受託開発案件におきましても順調に進行しており、安定したキャッシュフローを創出しています。

「東方幻想エクリプス」においては、2025年11月にリリース2周年を迎え、2025年7月には、台湾・香港・マカオ・シンガポール・マレーシアの5地域で繁体字版を正式リリースいたしました。

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	6,363	5,604	△11.9%
営業利益又は営業損失 (△)(百万円)	329	△922	—%
経常利益又は経常損失 (△)(百万円)	451	△740	—%
親会社株主に帰属する中間 純利益又は親会社株主に帰 属する中間純損失(△) (百万円)	396	△3,106	—%

当中間連結会計期間の経営成績は、売上高5,604百万円(前年同期比11.9%減)、営業損失922百万円(前年同期は営業利益329百万円)、経常損失740百万円(前年同期は経常利益451百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失3,106百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益396百万円)となりました。

当中間連結会計期間のセグメントごとの状況は次のとおりであります。

1. ゲーム事業

「東方幻想エクリプス」につきましては、2025年10月に東京ビッグサイトで開催された「第十二回博麗神社秋季例大祭」に出展し、キャラクターイラストを使用したオリジナルグッズの販売や試遊コーナーの設置により、タイトルの認知拡大とユーザー交流の機会創出を図りました。11月22日にはリリース2周年を迎え、アニバーサリー企画として期間限定のキャラクターや各種キャンペーンを展開し、ユーザーのエンゲージメントの向上に努めました。また、事業計画を慎重に精査し、将来の回収可能性を検討した結果、当初想定した期間内での回収が困難であると判断いたしましたため、当該ソフトウェアにおいて減損処理をいたしました。今後もユーザーの皆様に長期的に楽しんでいただけるコンテンツとなるよう、継続的なアップデートやイベント施策を進めてまいります。

「ゴシックは魔法乙女～さっさと契約しなさい!～」におきましては、「エスプガルーダⅡ」の稼働開始20周年を記念したガチャやキャンペーンを行い、ハロウィンイベントの開催や新メインストーリーの開始など、ユーザーに楽しんで頂ける施策を展開いたしました。また、昨年11月には、約4年ぶりとなるリアルイベント「第3回ごまおつスコア大会」を上野で開催し、エンゲージメントの拡大に努めました。

連結子会社である株式会社でらゲーでは、主要ゲームである「モンスターストライク」や「キングダム 乱-天下統一への道-」が安定的に推移し、当社グループの業績に引き続き大きく貢献しております。

「キングダム 乱-天下統一への道-」においては、ユーザーの利便性向上と多様な決済手段への対応を目的として、外部決済に対応した公式ストアを2025年8月にオープンしました。公式ストアの利用が順調に拡大しており、利益率の向上につながっております。

また、新作タイトルとして2025年11月に「OUTRANKERS(アウトランカーズ)」をリリースいたしました。幅広いユーザー層への認知拡大を目指して、積極的なプロモーション施策に取組み、グループ収益の軸となるコンテ

ンツを目指しておりましたが、事業計画を慎重に精査し、将来の回収可能性を検討した結果、当初想定した期間内での回収が困難であると判断いたしましたため、当該ソフトウェア仮勘定において減損処理をいたしました。

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	5,799	5,059	△12.7%
セグメント利益又は損失 (△)(百万円)	305	△934	—%

この結果、ゲーム事業セグメントにおける売上高は5,059百万円(前年同期比12.7%減)となり、セグメント損失は934百万円(前年同期はセグメント利益305百万円)となりました。

2. 動画配信関連事業

連結子会社である株式会社capableのライブ配信事業およびYouTube事業につきましては、配信プラットフォームの多様化や視聴動向の変化等の外部環境の影響により、収益の獲得が困難となっておりますが、コンテンツ制作体制の見直しや業務フローの効率化を進めており、安定的な利益の確保に努めました。

店舗事業におきましては、サービス内容の刷新を進めるとともに、スタッフ育成や運営体制の改善に継続的に取り組むことで、サービスのクオリティ向上を図ってまいりました。さらに、capableが強みとするデジタルマーケティングを活用した集客施策により、新規顧客獲得およびビジネス機会の拡大に向けて改善を行ってまいります。

連結子会社である株式会社サクセスプラスにつきましては、受託案件が計画通りに推移しており、当中間連結会計期間においても安定した収益を継続し、当社グループの収益拡大に引き続き貢献しております。

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	564	544	△3.6%
セグメント利益(百万円)	23	12	△49.1%

以上の結果、動画配信関連事業セグメントにおける売上高は544百万円(前年同期比3.6%減)となり、セグメント利益は12百万円(前年同期比49.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況 (総資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ3,744百万円減少し9,503百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金4,479百万円、売掛金1,093百万円、未収入金497百万円、投資有価証券877百万円、長期貸付金258百万円、保険積立金460百万円、のれん140百万円であります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて626百万円減少し6,355百万円となりました。主な内訳は、未払金964百万円、買掛金715百万円、未払費用234百万円、長期借入金1,537百万円、長期未払金2,202百万円であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3,118百万円減少し3,147百万円となりました。主な内訳は、資本金182百万円、資本剰余金625百万円、利益剰余金2,262百万円、自己株式△1,200百万円、新株予約権1,080百万円、為替換算調整勘定195百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、4,471百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は、1,771百万円(前中間連結会計期間は73百万円の資金の減少)となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失3,440百万円に現金支出を伴わない減価償却費93百万円及び減損損失2,656百万円が含まれ、売上債権の増加額17百万円、仕入債務の減少額141百万円、未払費用の減少額84百万円、未払消費税等の減少額330百万円、利息の支払額45百万円、法人税等の支払額219百万円の支出要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、747百万円(前中間連結会計期間は1,221百万円の資金の減少)となりました。これは主に、出資金の回収による収入171百万円の収入要因と連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出600百万円、無形固定資産の取得による支出333百万円の支出要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、728百万円(前中間連結会計期間は270百万円の資金の増加)となりました。これは主に、長期借入による収入960百万円の収入要因がありましたが、長期借入金の返済による支出170百万円、配当金の支払額60百万円の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期においては、株式会社でらゲーの「モンスターストライク」や「キングダム 乱-天下統一への道-」といった人気タイトルの安定的な収益基盤を維持しつつ、既存IPの海外展開や新規IPへの投資を通じた収益機会の拡大に加え、大幅なコスト削減により業績回復を目指してまいります。

「キングダム 乱-天下統一への道-」におきましては、昨年8月に外部決済に対応した公式ストア「キングダム 乱 Web Store」をオープンしました。利用者の拡大が継続しており、利益率向上に大きく寄与しております。

2026年4月にリリース11周年を迎える「ゴシックは魔法乙女～さっさと契約しなさい!～」は、2025年12月に外部決済に対応した「ゴシックは魔法乙女 公式WEBストア」を開設いたしました。利用者の増加により、利益率の向上を図ってまいります。

ファンコミュニケーションの強化を目的として公式オフィシャルショップのオープン準備を進めております。オリジナルグッズの販売やファン同士が交流し、楽しめる空間の提供を行ってまいります。

以上を踏まえ、2026年5月期の業績見通しにつきましては、ゲーム事業の経営環境が短期的に大きく変動し、売上動向の予測が困難であることから、現段階で信頼性の高い、通期の業績予想の算出は困難であると判断し、非開示とさせていただきますが、今後、合理的な見通しの算出が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,199,851	4,479,827
売掛金	1,073,254	1,093,717
棚卸資産	93,407	18,636
未収入金	569,390	497,356
その他	543,460	1,059,070
流動資産合計	8,479,365	7,148,608
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	76,753	72,710
工具、器具及び備品(純額)	123,223	189,813
土地	2,999	2,999
有形固定資産合計	202,975	265,523
無形固定資産		
のれん	160,019	140,017
ソフトウェア	296,811	739
ソフトウェア仮勘定	1,903,901	-
その他	1,240	1,240
無形固定資産合計	2,361,972	141,996
投資その他の資産		
投資有価証券	869,216	877,132
長期貸付金	431,575	258,684
関係会社長期貸付金	331,770	319,170
保険積立金	460,073	460,073
繰延税金資産	61,938	72,798
その他	479,346	408,154
貸倒引当金	△429,664	△448,488
投資その他の資産合計	2,204,256	1,947,526
固定資産合計	4,769,205	2,355,046
資産合計	13,248,570	9,503,654

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	694,224	715,745
1年内返済予定の長期借入金	282,514	496,769
未払金	1,055,055	964,188
未払費用	337,302	234,624
未払法人税等	206,458	10,175
未払消費税等	122,458	-
契約負債	74,523	83,996
その他	141,772	102,873
流動負債合計	2,914,309	2,608,371
固定負債		
長期借入金	962,992	1,537,823
長期未払金	2,804,391	2,202,195
繰延税金負債	288,328	-
その他	11,711	7,331
固定負債合計	4,067,423	3,747,349
負債合計	6,981,732	6,355,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	182,136	182,136
資本剰余金	625,345	625,345
利益剰余金	5,429,398	2,262,799
自己株式	△1,200,561	△1,200,561
株主資本合計	5,036,319	1,869,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,193	2,509
為替換算調整勘定	107,937	195,128
その他の包括利益累計額合計	104,743	197,638
新株予約権	1,080,574	1,080,574
非支配株主持分	45,200	-
純資産合計	6,266,838	3,147,932
負債純資産合計	13,248,570	9,503,654

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
売上高	6,363,890	5,604,140
売上原価	3,966,297	4,399,650
売上総利益	2,397,593	1,204,490
販売費及び一般管理費	2,068,491	2,126,946
営業利益又は営業損失(△)	329,101	△922,456
営業外収益		
受取利息	16,916	22,545
匿名組合投資利益	167,691	217,390
保険解約返戻金	81,209	-
その他	18,635	32,373
営業外収益合計	284,454	272,310
営業外費用		
支払利息	27,731	26,068
為替差損	98,788	24,193
貸倒引当金繰入額	-	32,975
その他	35,334	7,242
営業外費用合計	161,854	90,479
経常利益又は経常損失(△)	451,701	△740,625
特別利益		
固定資産売却益	9,858	4,135
特別利益合計	9,858	4,135
特別損失		
減損損失	-	2,656,655
関係会社出資金評価損	51,819	-
関係会社株式評価損	10,000	330
出資金評価損	-	45,298
その他	-	1,635
特別損失合計	61,819	2,703,920
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	399,739	△3,440,409
法人税、住民税及び事業税	102,667	7,666
法人税等調整額	△38,971	△296,534
法人税等合計	63,696	△288,868
中間純利益又は中間純損失(△)	336,043	△3,151,541
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△60,255	△45,200
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	396,298	△3,106,340

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	336,043	△3,151,541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,738	5,703
為替換算調整勘定	55,606	87,191
その他の包括利益合計	40,867	92,894
中間包括利益	376,910	△3,058,646
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	437,165	△3,013,445
非支配株主に係る中間包括利益	△60,255	△45,200

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間 純損失(△)	399,739	△3,440,409
減価償却費	103,610	93,782
のれん償却額	20,002	20,002
減損損失	—	2,656,655
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,906	31,615
受取利息及び受取配当金	△22,321	△26,332
支払利息	27,731	26,068
為替差損益(△は益)	13,586	△6,814
匿名組合投資損益(△は益)	△167,691	△217,390
保険解約返戻金	△81,209	—
固定資産売却損益(△は益)	△9,858	△4,135
関係会社株式評価損	10,000	330
関係会社出資金評価損	51,819	—
出資金評価損	—	45,298
売上債権の増減額(△は増加)	△30,779	△17,285
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14,906	74,771
未収入金の増減額(△は増加)	100,759	72,205
仕入債務の増減額(△は減少)	44,215	△141,633
未払金の増減額(△は減少)	△40,389	△46,315
未払費用の増減額(△は減少)	△70,076	△84,696
未払消費税等の増減額(△は減少)	41,036	△330,642
未払法人税等の増減額(△は減少)	4,656	△3,682
その他の資産の増減額(△は増加)	106,763	△194,090
その他の負債の増減額(△は減少)	△107,836	△35,845
小計	383,756	△1,528,547
利息及び配当金の受取額	17,637	23,006
利息の支払額	△95,190	△45,954
法人税等の支払額	△379,961	△219,962
営業活動によるキャッシュ・フロー	△73,757	△1,771,457

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△89,707	△10,221
無形固定資産の取得による支出	△896,568	△333,581
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△779,154	△600,000
出資金の払込による支出	△99,445	—
出資金の回収による収入	153,519	171,310
保険積立金の解約による収入	358,920	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	27,449	23,491
長期貸付けによる支出	△12,000	△78
貸付金の回収による収入	86,626	2
その他	29,063	1,187
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,221,297	△747,889
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	260,000	960,000
長期借入金の返済による支出	△109,160	△170,914
非支配株主からの払込みによる収入	210,065	—
配当金の支払額	△90,378	△60,259
その他	△526	△297
財務活動によるキャッシュ・フロー	270,001	728,529
現金及び現金同等物に係る換算差額	43,077	69,766
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△981,976	△1,721,050
現金及び現金同等物の期首残高	6,334,610	6,192,360
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,352,633	4,471,310

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
2024年 8月30日 定時株主総会	普通株式	繰越利益剰余金	90	15円00銭	2024年 5月31日	2024年 8月31日

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
2025年 8月28日 定時株主総会	普通株式	繰越利益剰余金	60	10円00銭	2025年 5月31日	2025年 8月29日

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結財務諸表計上額
	ゲーム事業	動画配信 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,799,122	564,768	6,363,890	—	6,363,890
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,799,122	564,768	6,363,890	—	6,363,890
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,799,122	564,768	6,363,890	—	6,363,890
セグメント利益	305,127	23,973	329,101	—	329,101

(注)セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当中間連結会計期間に、株式会社サクセスプラスの全株式を取得し、同社を連結の範囲に含めたことにより、当中間連結会計期間における「動画配信関連事業」セグメント資産が、前連結会計年度末に比べ、344,357千円、報告セグメントに帰属しない全社資産が119,241千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間に、「動画配信関連事業」において、株式会社サクセスプラスの株式を取得したことにより、のれんが180,022千円増加しております。

当中間連結会計期間(自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失(△)の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結財務諸表計上額
	ゲーム事業	動画配信 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,059,753	544,387	5,604,140	—	5,604,140
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,059,753	544,387	5,604,140	—	5,604,140
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,059,753	544,387	5,604,140	—	5,604,140
セグメント利益又は損失(△)	△934,661	12,205	△922,456	—	△922,456

(注)セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

「ゲーム事業」セグメントにおいて、ソフトウェアの減損損失を253百万円計上、ソフトウェア仮勘定の減損損失を2,399百万円計上しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。